



横浜市立西金沢学園 地域防災拠点

防災拠点とは？

- 大地震発生時の地域の避難所・援助物資の配布等の拠点です。(横浜市が指定)
- 西金沢学園防災拠点は関ヶ谷・山の手・夏山の3地区合同の拠点です。運営は3自治会で構成される運営委員会が担います。

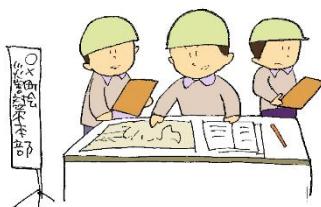
横浜市に震度5強以上の地震発生時に開設

何人くらい収容できる？

関ヶ谷自治会・・・230人

山の手自治会・・・88人

夏山町内会・・・256人



関ヶ谷全体でほぼ1,000世帯。およそ1割の方が避難できるか・・・という程度です。

自宅避難が基本です！

備蓄食品等はどのくらいあるの？

発電機・大釜などの機材が防災倉庫にあります。備蓄食品・水等もありますが、避難所に入った人たちが1日何とかなるか・・・という程度の量です。外部からの支援が届くまでは各戸に配布できるものではありません。

飲料水・生活用水・食料品の備えは自分で！

大地震により、自宅に居られない状況になった場合には、各々の判断で防災拠点の避難所（西金沢学園 元の小学校）へ避難します。